



# あったかす

〒071-1211 鷹栖町北1条1丁目4番1号 TEL: 0166-87-2219 FAX: 0166-87-2170

## 鷹栖町立鷹栖小学校 令和5(2023)年9月29日 第⑥号

秋です。秋、真っ盛りです。

### ◆さけが大きくなるまで。

2年生[国語・下]の教科書の最初に登場するのは、[さけが大きくなるまで]という説明文教材です。北海道に住む私たちには、とてもなじみのある魚[さけ(鮭)]について、いつどこで生まれ、どのように成長していくのか、時を表す言葉や、さけの大きさ、場所を表す言葉などに気を付けながら読んでいく教材です。

この教材、昭和時代から長く掲載され続けています。若い頃、実物大のさけの模型を作ったり、教室の天井近くからスズランテープを垂らして滝を表現したりして授業をした思い出があります。

教材文にはこんな記述→[三メートルぐらいのたきでものりこえて…。][くぼみのそこにたまごをたくさんうんで、うめてしまいます。][水にながされながら、いく日もいく日もかかって、川を下っていきます。][さめやあざらしなどに、たくさんなかまが食べられてしまいます。]

まさに冒険の旅。ハリソン・フォード主演の映画[インディー・ジョーンズ]を思い出します。

さて、教材文の後ろのページに、  
[科学のアルバム：サケのたんじょう]

(桜井淳史 著/あかね書房)

という本が紹介されています。

(鷹栖小学校の図書室にも、3冊あります。)

もう40年も昔に発刊された本ですが、これが実に面白いのです。なるほど…、勉強になります。

『メスは、からだを横にたおし、尾びれを上下にふって、川底の砂利をほりはじめます。…そのあいだ、オスはメスの後ろにいて、からだをふるわせてすりよったり、ほかのオスが近づくと、追いはらったりします。』

……([サケのたんじょう]より引用)

サケは、海から川上への苦しくて長い旅の間、一切何も食べないのだそうです。やっとの思いで上流の産卵場所にたどり着くと、次は、休む間もなく産卵床(卵を産むためのくぼみ。直径1m、深さ50cm)を掘ります。さあ、いよいよ産卵です。

### ◆お父さんサケ。お母さんサケ。

教材文は→[たまごをたくさんうんで、うめてしまいます。]という記述のみですが、[サケのたんじょう]では、[お母さんサケ]の役割である[産卵]と、[お父さんサケ]の役割である[放精]について、分けて書かれています。

『産卵時間は7~20秒。そのあいだにメスは、約三千個の卵を産み、オスはその卵に精子をかけます。』……([サケのたんじょう]より引用)

サケのからだは傷だらけです。残りわずかの命、カッと開いた口。オスとメスが並んで写る[産卵]と[放精]の瞬間の写真からは、サケの[いのち]を感じます。さらに言えば、これはサケの習性・本能であることは分かっていますが、ピュアでロマンチストな私は、サケの[愛]を感じます。

ところで、サケの赤ちゃんが誕生するのは、お父さんサケ、お母さんサケが死んでしまったあと。ですから、サケの赤ちゃんは、親の援助を受けることなく、自分の力だけで生きていくのです。

いいえ、そうではありません。親サケは、自らの命が絶える直前まで、いや、命が絶えた後も、まだ見ぬ我が子のために、力を尽くします。

『産卵後、メスは尾びれで卵の上に砂利をかけ、その場所にしばらくの間とどまります。ほかのメスが産卵のために掘り返さないよう、守るのです。…やがて力つき、死んでいきます。』

……([サケのたんじょう]より引用)

『死んだサケは、鳥やけもののえさになるだけではなく、バクテリアによって分解され、プランクトンのえさになります。よく年の春にふ化するサケの稚魚は、死んだ親サケの栄養でふえたプランクトンを食べて成長するのです。』

……([サケのたんじょう]より引用)

人間も、さけも、[親]は、偉大なのです。

秋の夜長。さけの長い旅に思いを馳せ、今宵は[白子たっぷりの石狩鍋]で、心と体を温めましょうか。もちろん、ななつぼしの新米を炊いた、ほっかほかのご飯も一緒に。

(校長：北山 雅章)

## 発見旅行(1~4年)

9月5日(火)に3・4年生、7日(木)に1・2年生の発見旅行を実施しました。3・4年生は、旭川市の旭山動物園



で、動物園の裏側ガイド、班でのレクリエーション、ウオークラリー等を楽しみました。1・2年生は、旭川市のカムイの杜公園で、全員遊び、班での遊び(アスレチック)等を楽しみました。どちらも上級



生がリーダーシップを発揮し、活動を進めたり、班員をまとめたりすることができ、大変立派でした。動物の生態、仲間のよさ、集団行動の大切さ等、たく

くさんの発見があった旅行となりました。

## 稲刈り体験学習(5年)

9月6日(水)鷹栖町役場・ノースフィールド・J Aたいせつ青年部の皆様のご協力・ご指導をいただき、5年生が稲刈りの体験学習をしました。6月に植えた苗が大きく成長し、黄金色の稲穂となり、子どもたちもとても感動したようです。鷹栖町の主な産業である稲作につ

いて体験を通して学ぶことができました。10月には脱穀の体験もさせていただく予定です。



いて体験を通して学ぶことができました。10月には脱穀の体験もさせていただく予定です。

## 消防出前講座(3年)

9月28日(木)に、3年生が鷹栖消防署の出前講座を受講しました。消防のお仕事や消防車につ



て詳しく説明していただいたり、放水体験や防火服を着る体験などをさせていただいたりしました。初めて見た

り、触ったりする消防車の装備に子どもたちも目を輝かせていました。

## 2学期最初の参観日

9月21日(木)に4~6年生、26日(火)に1~3年生の参観日を実施しました。2学期に入り、

はりきって学習している姿や、1学期よりもさらに成長した姿を見ていただけたと思います。懇談会へのご参加もありがとうございました。今後も本校の教育活動に対し、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## たか小っ子マラソン

体力(持久力)を高めることを目的に、9月中は



「たか小っ子マラソン」と称して、マラソンに取り組みました。子どもたちは、休み時間にグラウンドを走り、自分の記録カード

に走った周数を記録していきました。カードの中には、10周したら「担任の先生と握手」、50周したら「校長先生の部屋で椅子に座らせてもらおう」などのイベントを設定しており、子供たちも意欲的に楽しみながら取り組んでいました。高まった体力を落とさぬよう、今後も主体的に運動に取り組んでほしいです。

## コーディネーショントレーニング

町で行っているコーディネーショントレーニング。今年度の全プログラムが終了しました。脳や運動神経に刺激を与え

る運動や運動の基礎的な力を育む様々なトレーニングに取り組み、子どもたちは



力を高めることができました。ご家庭でできる簡単な運動もありますので、ぜひ保護者の皆様もお子様と一緒に取り組んでみてください。

## 10月の行事予定

- 2日(月) 学芸会特別時間割開始 研修日
- 3日(火) 朝会(児童会認証式)  
午前授業(上教研中部地区研究大会)
- 4日(水) 町長・副町長学校訪問 中学生職場体験
- 9日(月) **スポーツの日**
- 10日(火) 交通安全街頭指導 職員会議
- 12日(木) 学芸会係活動
- 18日(火) 学芸会係活動
- 19日(木) 学芸会児童公開日 職員会議
- 20日(金) 学芸会係活動(前日準備)
- 21日(土) 学芸会
- 23日(月) **振替休業日**
- 26日(木) 児童会 5年ふるさと共育(脱穀)
- 30日(月) 研修日

